



相談救済研究会 JP-MIRAI緊急支援（ミャンマー）の教訓

JP-MIRAI事務局
八下田 侑恵

実施した企画

- 映画上映会（6月19日）
- セミナー
- 個別相談会



日本とミャンマー、二つの国で揺れる家族の愛の物語

＜JP-MIRAI協力企画＞ <https://tabel.jp/8374983>

JP-MIRAI x E.X.N

映画『僕の帰る場所』オンライン上映会
* イベント当日 10:00 ~ 17:30 の好きな時間にご覧いただけます。
* 上映による収益の半分をミャンマー市民を支援する活動に寄付致します。

&
トークイベント
「～在留ミャンマー人の現状と私たちとして出来ること～」
* 6月19日 17:30開始 * チケット購入の方のみZOOMリンクを配布
登壇者: 藤元明緒(本作監督)、奥村真紀子(JP-MIRAI)、在留ミャンマー人(匿名出演)

開催日程: 2021年6月19日(土)
チケット料金: 1500円 ※申込期限: 6月17日22:00

主催: 株式会社E.X.N / 協力: JP-MIRAI「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」

在留ミャンマー人の現状と彼らが抱える課題を広く発信するために開催。トークイベントでは日本に住むミャンマー人とミャンマー人の技能実習生に今後日本でより困難な状況に置かれる可能性のある在留ミャンマー人の現状を語っていただいた。

キーパーソン（モモ氏：ミャンマー料理店ゴールデンバガン経営者）から在日ミャンマー人の現状について伺い、ミャンマー特例処置や仕事に関する説明を行い、彼らに「行動してもらえよう」な情報発信が必要であることが判明した。




就学・実習・就業を終え、引き続き日本国内での在留や就業を希望するミャンマー人に対し、在留資格の特例措置や諸制度を説明するとともに、JP-MIRAI会員企業による就業関連の情報提供を行った。

実施日時：6月26日（土） 15:00～17:10

実施形式：オンライン

参加者：在日ミャンマー人142名
(日本人のオブザーバー参加含む)

「在日ミャンマー人向け在留と仕事に関するセミナー」(オンライン)のお知らせ

【責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム】(通称JP-MIRAI)は、2021年6月26日午後3時より、『在日ミャンマー人向け在留と仕事に関するセミナー』を開催します。

2021年2月のクーデター後、日本に滞在しているミャンマー人のうち卒業した留学生や実習を終えた技能実習生の方々が、「ミャンマーに帰国することが難しくなった」「そのうち在留資格の期限がきてしまう」といった不安の声が聞かれます。そこで、JP-MIRAIは、ミャンマーの方が少しでも安心して生活し、希望する仕事につけるように、オンラインの情報提供セミナーをひらきます。

今回のセミナーは、在留資格のわかりやすい説明や在日ミャンマー人の方の日本での経験談、日本で生活、仕事をすることで知っておきたい施設のご紹介等、お役立ち情報が盛りだくさんです。ぜひセミナーにお申し込みください。

1. 日にち：6月26日(土) 午後3時～午後5時10分(予定)
2. 開催形式：オンライン (Zoomを予定)
3. 参加人数：先着 200名
4. 費用：無料
5. 言語：日本語・ミャンマー語通訳あり

Japan Platform for Migrant Workers Towards Responsible and Inclusive Society
日本で活躍する外国人労働者の権利を守り、働く環境と生活する権利を確保するために、企業・業界団体・市民団体・政府機関などが協力して設立された任意団体です。

6. **申し込み先**：下記URLより登録してください。
https://zoom.us/webinar/register/WN_EOmVZb_xSDCywdzPexIq




7. **プログラム**

15:00	主催者挨拶、プログラム説明 (JP-MIRAI事務局長)
15:05	外国人在留支援センター (FRESCO) 紹介
15:15	在留資格・制度について (杉田昌平弁護士)
15:45	ハローワーク紹介
15:55	在日ミャンマー人の経験談
16:20	採用要領の準備 (JICE)
16:35	求人情報 高度人材 ((株) グローバルパワー)
16:50	求人情報 特定技能 ((株) タイフ)
17:05	閉会挨拶 (JP-MIRAI事務局)

8. **注意事項**：①セミナーの内容については、講師の責任で説明するもので、大事なことは必ず自分で確認してください。また、個別の質問にはお答えできないことがあります。②提出していただく個人情報(お名前を含む)は適切に管理し、第三者には開示しません。

9. **問い合わせ先**：ask@jp-mirai.org (JP-MIRAI事務局)
お問い合わせの際は、件名に「セミナー」と記入ください。

JP-MIRAI Facebook
JP-MIRAI ホームページ (<https://jp-mirai.org/jp/>)

Facebook



セミナー参加者へのアンケートでは、在留資格や就業等に関する個別相談に関する要望が多く、これを踏まえ、JP-MIRAIは7月から3か月にわたって毎月1回、個別相談会を開催することとした。

JP-MIRAI/JICAの狙いとしては相談の仕組みづくり相談の教訓の洗い出しがある。

開催日時：7月18日（日）、8月15日（日） 11:00～16:00

開催場所：ゴールデンバガン（ミャンマー料理店）

相談者数：11人（7月18日）
7人（うち3人は第1回からの継続参加）（8月15日）

【次回 9月19日（日）開催予定】

The poster is titled "在日ミャンマー人向け在留と仕事に関する個別相談会" (Individual Consultation for Myanmar Migrants in Japan regarding Residence and Work). It is organized by the Japan Platform for Migrant Workers. The event dates are 7/18, 8/15, and 9/19 (Sundays) from 11:00 to 16:00. The location is Golden Bagan (Myanmar restaurant). It is free of charge and offers Japanese-Myanmar translation services. Participants should bring their passports and residence cards. The event is hosted by JP-MIRAI. Contact information is provided as ask@jp-mirai.org. A QR code is also present.

Japan Platform for Migrant Workers
Towards Responsible and Inclusive Society

在日ミャンマー人向け在留と仕事に関する個別相談会
のお知らせ

2021年2月のクーデターを受け、ミャンマー人の方が少しでも安心して生活し、希望する仕事につけるよう『在日ミャンマー人向け個別相談会』をひらきます。
専門知識を持ったスタッフが責任を持ち対応します。

生活のこと、仕事のこと、困っていること、何でも相談してください！

1. 日にち : 7/18, 8/15, 9/19 (第3日曜日) 11:00~16:00
2. 開催場所 : ゴールデンバガン (東京都新宿区富久町8-20)
3. 費用 : 無料
4. 言語 : 日本語・ミャンマー語通訳あり
5. 持ち物 : パスポート・在留カード (・仕事の契約書)
6. 主催 : 責任ある外国人労働者受け入れプラットフォーム (JP-MIRAI) ¹
7. 問い合わせ先 : ask@jp-mirai.org
※件名に「ミャンマー」と書いてください。
オンラインでの相談や事前予約も可能です。
ご希望の方は、問い合わせ先アドレスにご連絡ください。

● 『在日ミャンマー人向け在留と仕事に関するセミナー (2021年6月26日実施)』

● JP-MIRAI Facebook

¹Japan Platform for Migrant Workers Towards Responsible and Inclusive Society
日本で活躍する外国人労働者の権利を守り、働く環境と生活する環境を改善するための
企業・業界団体・市民団体・政府機関などが協力して設立された任意団体です。

個別相談会対応事例 (8月20日現在)



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society

在留資格	主な相談内容	対応内容	特記事項
技能実習	職場環境への不満から直ぐにでも転職したい。	技能実習満了後、転職する。まずは <u>監理団体への相談を助言する。</u>	職場への不満はあるものの、在留資格の説明をすると、技能実習満了後、転職し特定技能への変更を目指すことが多い。
留学	ミャンマーの情勢が落ち着くまで、卒業後も帰国せずに、日本で働きたい。英語しか話せない。	「卒業見込み証明書」取得次第「特定活動」へ資格変更、 <u>求職サイトを紹介する。</u>	比較的問題解決能力が高く、一度相談会に参加し求人サイト等の照会を行えば、自立して職探し等が可能
特定活動	仕事がしたい。	JP-MIRA会員企業に、 <u>職業紹介を依頼した</u>	職業紹介は本人と企業で連絡を取っていただく JP-MIRAIは内定まで相談者のフォローをする
難民申請中	仕事がしたい。	入管との面談の際に、ミャンマー特例処置の特定活動（週28時間就労可）になるか質問する。 <u>入管での相談を薦めた。</u>	
技人国	仕事を探したい。	ブローカーから買った在留資格のため、特定活動（週28時間就労可）に移行し、 <u>職探しを薦めた。</u>	
不法滞在	今後について、出頭した方が良いのか、しない方が良いのか	出頭しない場合の不利益を説明し、 <u>出頭を薦めた。</u> 出頭する場合の手続きは支援する旨説明。	
技能実習生 (資格変更中)	暴力のあった会社を訴えたい	解決方法、紛争に持ち込む場合の本人の負担（時間、精神面等）を説明し、 <u>自身で判断するよう助言。</u>	本人が労働組合への相談を選択した。

1. 同胞組織（人）ネットワークとの連携（気づきの点）

（1）メリット

- ・ **相談のハードルが下がる**：同胞者の通訳により、徐々に言葉が増え、具体的な相談・対応が出来た。
- ・ **より重大な問題の予防**：これまで相談できていなかった人が、同じ民族出身など信用できる人からの声掛けにより相談来訪された（例：難民申請中・オーバーステイ・問題を抱えた技能実習生）

（2）留意点

- ・ 感情的に動きやすい。オーバーステイの見過ごし等法令違反に導くリスク。
- ・ 相談対応者と通訳者の意見の違い。ミャンマーの方は難民申請が選択肢になりやすい。

2. 今後に向けた教訓（伴走者の視点から）

（1）受付対応

- ・ 弁護士相談を効率的に行うため**基本情報の聴き取り・在留カード等書類の確認**が重要。
- ・ 在留資格などの単語は相談者にとって難しい単語が多く、重要なことは簡潔・繰り返し伝えて理解したか確認。

（2）相談対応

- ・ 相談内容を蓄積し、簡単な相談には対応できるように（ノウハウ蓄積・共有）
- ・ バランスの取れた相談対応（同胞人と日本人等）

（3）関係者との連携体制構築

【職業紹介】 協力頂けるJP-MIRAI会員企業への個別相談

→よりシステマティックな対応へ

【公的機関】 警察、入管、FRESCやNGOなどへ適切な引き繋ぎ

→マニュアル化

（4）シェルター

- ・ 重大な相談の場合には必要になる